製品安全試験サービス

□見積依頼書　□申請依頼書

（どちらかにチェック（✓）を入れてください。）

御依頼者(Applicant)		貴社参照番号：
会社名： 住 所 ： 部署名： 担当者： ＴＥＬ ： E-Mail：		役職名： ＦＡＸ ：
製造業者 (Manufacturer:責任製造会社)		□　御依頼者と同一
会社名： 住 所 ：		
製造工場 (Factory)		
１．工場名： 住　所：		
２．工場名： 住　所：		
見積／申請依頼内容		
A	□ CB 証明書及び CB テストレポート 国別追加要求：	規 格 番 号 ： 目的：
B	□ テストレポート（ボランタリー） □　全試験　　□　部分試験	規 格 番 号 ： 仕向け地域： レポート言語： 目的：
C	□　技術相談　　□　プリチェック （希望日：　　）	規 格 番 号 ： 仕向け地域： 目的：
D	□　その他	（内容：　　）

テュフズードオータマオータマ株式会社　東京試験所

TOTL_F_0903.06
〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20
TEL: 044-980-2091 / FAX: 044-980-2052

Rev1- Effective 2011/11/18
Author Masaya Ohta

製品安全試験サービス

Ohtama

製品情報	□　カタログ添付
製　品　名　： モ デ ル 名　： 入力電圧定格： 電撃保護クラス： 外形寸法、重量：	（以下、該当する場合） 装着部の保護の程度： 出 力 定 格： 防水クラス：　IPX__ レーザークラス：　Class　__
サービス完了希望日：	

試験概略

□　テュフズードオータマで既に類似機種の試験を実施（報告書番号：　　）
□　適用になる副通則、個別規格、　（　　）

テストサンプル概略

電源構成　□　回路図添付
□　スイッチング電源（認証規格：　　CB レポート：　　）
□　電源トランス（定格：　　２次出力数：
過熱保護方式：□　温度ヒューズ　□　電流ヒューズ（位置、定格：　　）

その他

□　AC モータ（　　）　□　DC モータ、ソレノイド（　　）
□　ヒータ（定格：　　）　□　高圧回路（　　ｋV）
□　電池（種類：　　容量：　　）

患者回路　□　回路図添付
絶縁構造　□　絶縁構造図添付

601 第３版のための質問事項

□　既に第３版での試験を実施もしくは実施中（報告書番号：　　）
□　ソフトウェア搭載（具体的な機能：　　）
□　アラーム機能装備
□　家庭で使用される
□　絶縁コンパウンド使用
□　可動部（露出する）あり
□　IEC/ISO 性能規格あり（規格名：　　）

お見積ご依頼の際は、以下の欄にご署名、ご記入をお願いします。

ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　申請年月日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

テュフズードオータマオータマ株式会社　東京試験所

TOTL_F_0903.06
〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20
TEL: 044-980-2091 / FAX: 044-980-2052

Rev1- Effective 2011/11/18
Author Masaya Ohta

製品安全試験サービス

製品情報	□　カタログ添付
製　品　名　： 入力電圧定格： 電撃保護クラス： 外形寸法、重量：	モ デ ル 名 ： 出 力 定 格 ： （以下、該当する場合） 防水クラス：IPX__ レーザークラス：　Class　__
サービス完了希望日：	
費用の請求先	□　御依頼者と同一
会社名： 住 所 ： 部署名：　　担当者： ＴＥＬ ：　　E-Mail：	
テストサンプル御準備内訳	
本体：　　台　　内蔵電源（or トランス）：　　台 アクセサリー： その他（治具、予備部品など）：	
テストサンプル発送予定日：	
資料御準備内訳	
□　回路図／ブロック図（絶縁構造図）　　□取扱説明書（日本文・英文） □　安全性重要部品リスト（１次側部品、１次－２次間絶縁部品、プラスチックエンクロージャ難燃性、など） □　安全性重要部品ライセンスコピー □　安全性重要部品仕様書（トランスなど） □　スイッチング電源　CB 証明書および CB レポート（該当すれば） □　その他：	
資料発送予定日：	

お申込みの際は、以下の欄にご署名、ご記入をお願いします。

弊社見積書 No.＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　申請年月日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

テュフズードオータマオータマ株式会社　東京試験所

TOTL_F_0903.06
〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20
TEL: 044-980-2091 / FAX: 044-980-2052

Rev1- Effective 2011/11/18
Author Masaya Ohta